

ものづくり・製造技術



キーワード：加工技術、アーク溶接

工作機械等を用いたものづくり教育

理工学部 テクノセンター 技術職員
釣本 聖司 TSURIMOTO Seiji

研究の内容

ものづくりにおける技術は日々変化しており、求められる人材も多様化している。
ものづくりにおける社会に対応した人材をものづくり教育によって育てる必要がある。

本研究は、参考文献と資料収集による検討、および試料の実加工を行い、より効果的にものづくり実習者の興味を引き、ものづくりに対する理解を深めるためにはどのようにすればよいかを思案、実行するものとする。具体的には既存の工作機械を用い、切削加工が困難とされるアクリル材等を複雑形状に加工をおこなって適正切削加工条件データを収集し加工プロセスを考察、分析を行う。



アクリル加工实例



ワイヤ放電加工機



様々な溶接機

産学連携・社会連携へのアピールポイント

ものづくりでは切削理論や溶接知識といった総合的な経験知識が有用です。テクノセンターではものづくりにおける総合的な実習体験プログラムがありますのでご利用をご検討ください。

テクノセンター

URL : <http://www.setsunan.ac.jp/~factory/>

